

脈々 スピリッツ 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「天の眼」

散り敷かれた銀杏の落ち葉は、どれもこれも同じに見える。一枚一枚の落ち葉にも魂があって、これを聞いていたとしたら、どうだろう。「私たちのこと、みんな同じに見えるんだって。私たちから人間を見ればみんな同じだから、お相子かな」と囁き交わしているに違いない。

小さな行き違いに色めき立ち、僅かなずれに角突き合わせる、この人間界を天の眼から見たらどうなのだろう。

人は互いに其の短所を恕し<sup>ゆる</sup>長所を認めて、相和し相包容する所に社会生活の妙がある。

(「藪椿」7-11)